

環境活動レポート

2010年度

対象期間: 2010年4月1日～6月30日 試行版



平城京大極殿正殿

奈良スバル自動車株式会社

作成: 2010年 7月15日

【1】会社概要

(1) 事業所名

奈良スバル自動車株式会社

(2) 所在地

〒634-0837 奈良県橿原市曲川町6-19-17

(3) 代表者氏名

代表取締役 高木 信一

(4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者	専務執行役員	安井 光雄
事務局	総務部 課長	増田 衛昭
担当者	総務部 課長	増田 衛昭
連絡先	電話 0744-22-1331	FAX0744-24-5549

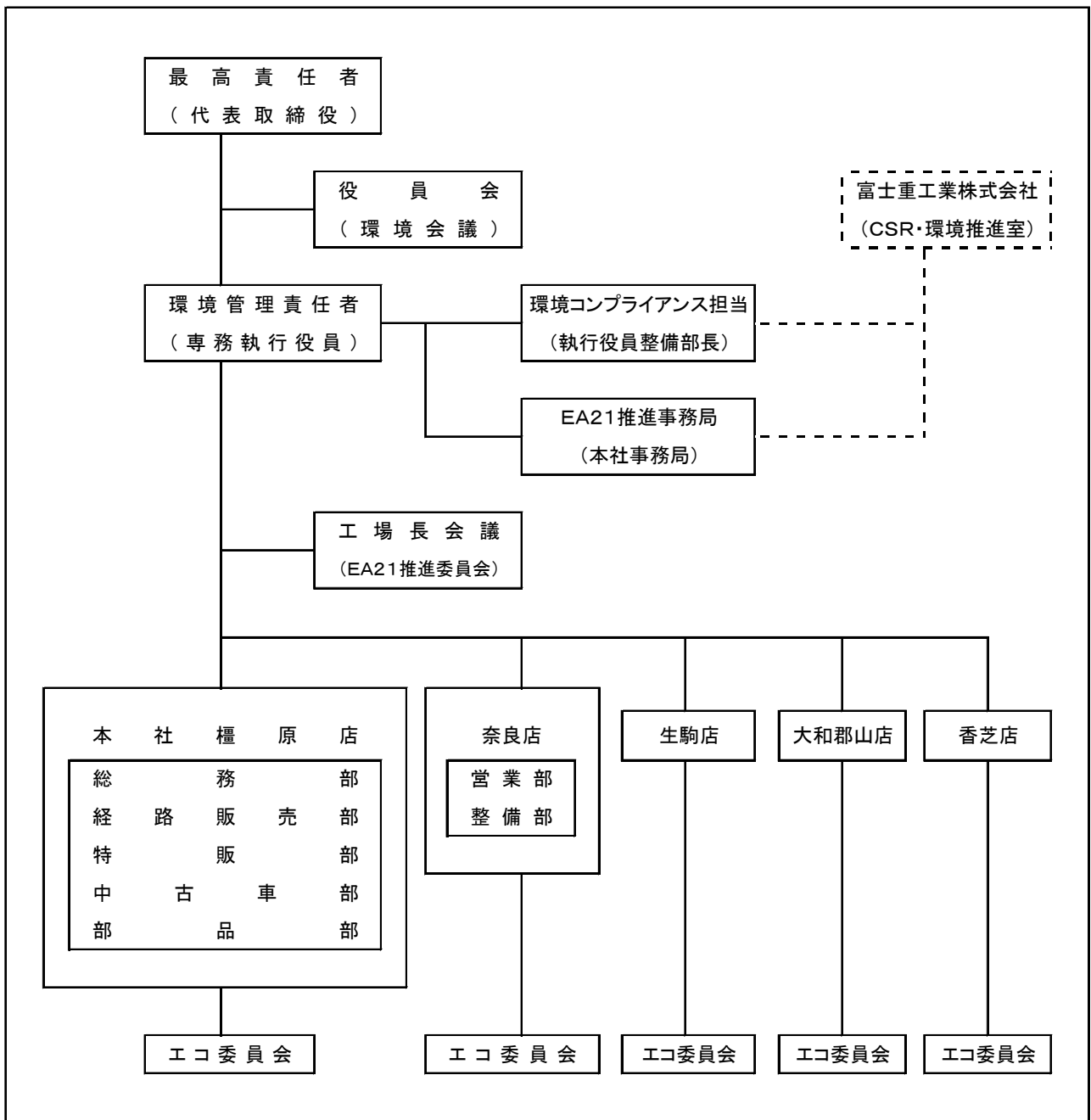
(5) 事業の内容

1. 自動車の販売 2. 中古自動車の販売 3. 前各号に関する部品・用品の販売
および修理 4. 自動車の整備 5. 損害保険代理業および自動車損害賠償保障法
に基づく保険代理業

(6) 事業の規模

・売上高		4,084百万円(2009年度)
・新車販売台数	スバル	1,546台(2009年度)
・中古車販売台数		485台(2009年度)
・従業員数(派遣・パート等含む)		140人
・店舗数		スバル新車直販5 業販1 中古車1

(7)EA21推進組織図



(8) 事業所一覧・組織区分

事業所名	郵便番号	住所	連絡先	電話番号	FAX番号	面積(坪)		工場 資格	組織 区分
						土地	建物		
1 本社橿原店	634-0837	奈良県橿原市曲川町6-19-17	吉田政彦	0744-22-1331	0744-24-5549	1,495.0	560.3	指定	A
2 奈良店	630-8014	奈良県奈良市四条大路1-4-56	平田恭一	0742-33-6451	0742-35-1275	2,047.0	616.0	指定	C
3 生駒店	630-0201	奈良県生駒市小明町2103-1	萱原正啓	0743-70-8555	0743-71-8530	418.5	283.3	指定	B
4 大和郡山店	639-1026	奈良県大和郡山市小林町西3-5-3	栢谷明良	0743-56-8282	0743-56-6332	212.1	95.3	指定	B
5 香芝店	639-0241	奈良県香芝市高148-2	藪内 順	0745-78-1001	0745-78-1660	684.9	127.6	指定	B

工場資格で、指定は指定整備工場を示す

組織区分の意味

A=オフィス業務+自動車販売(新車、中古車)+整備業務

B=オフィス業務+自動車販売(新車)+整備業務

C=オフィス業務+自動車販売(新車)+整備業務+钣金塗装

【2】環境方針

《基本理念》

奈良スバル自動車株式会社は、日本が世界に誇る歴史的文化遺産が数多く存在する奈良県において、その貴重な遺産をとりまく豊かな自然の維持の為、また住み良い生活環境の実現と優れた歴史にふさわしい環境に配慮した健全な経営を全社員が常に意識し行動します。

《基本方針》

この理念のもと、当社が行う自動車および部品の販売、整備、保険代理業務に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を推進します。

1. 環境に配慮した車の販売を推進します。
2. 事業活動の全領域で、省エネルギー（CO2削減を含む）、省資源、リサイクル、公害防止に配慮した活動を行います。
3. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスが継続的に改善できるように推進します。
4. 適用される環境関連の法規制、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
5. 特に次の環境保全の重要項目に対して、環境目標を設定し取り組みを行い、必要があれば見直しを行います。
 - ①省エネルギーの推進（電力使用量、燃料使用量削減）
 - ②省資源（水使用量、紙使用量抑制）
 - ③廃棄物の排出抑制と適正処理（一般廃棄物及び産業廃棄物排出量削減）
 - ④化学物質管理の強化（PRTR法関連、VOC対策）
 - ⑤拠点周辺の清掃活動を行ない、地域の環境改善に貢献します。
6. この環境方針を全従業員に周知し、教育活動を推進します。

2010年1月15日

奈良スバル自動車株式会社

代表取締役 高木 信一

【3】環境目標

当社は環境への負荷が大きいと考えられる《エネルギー使用量》《廃棄物の排出量》の把握をし、削減活動に重点をおく。同時に、リサイクルの推進を積極的に行う。

(1) 環境負荷の状況 *全社合計

項目	単位	2009年(基準年度)	
電気使用量	kWh	700,626	
燃料	ガソリン	L	123,528
	灯油	L	9,053
	軽油	L	5,601
	重油	L	---
	LPG	m3	2,105
	都市ガス	m3	43
水使用量	m3	6,531	
産業廃棄物(処分量)	kg	12,884	
一般廃棄物	kg	28,453	
紙(コピー用紙)使用量	kg	3,595	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	595,295	

(2) 環境目標 *全社合計

項目	単位	2010年度	2011年度	2012年度	
電気使用量	kWh	693,620	686,613	679,607	
(削減率)		1%	2%	3%	
燃料	ガソリン	L	122,293	121,057	119,822
	灯油	L	8,962	8,872	8,781
	軽油	L	5,545	5,489	5,433
	重油	L	---	---	---
	LPG	m3	2,084	2,063	2,042
	都市ガス	m3	42.6	42.1	41.7
	(削減率)		1%	2%	3%
水使用量	m3	6,466	6,400	6,335	
(削減率)		1%	2%	3%	
産業廃棄物(処分量)	kg	12,755	12,626	12,497	
(削減率)		1%	2%	3%	
一般廃棄物	kg	28,168	27,884	27,599	
(削減率)		1%	2%	3%	
紙(コピー用紙)使用量	kg	3,559	3,523	3,487	
(削減率)		1%	2%	3%	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	589,342	583,389	577,436	
(削減率)		1%	2%	3%	

(注) 電力量から二酸化炭素量への排出係数は、0.378kg-CO2/kWhを採用。(ガイドライン2004年版に準拠)

【4】主要な環境活動計画の内容

(1) 数値目標を達成するための取組

- ① 電気使用量削減
 - ・スイッチ部に「節電」貼紙、昼休憩時事務所消灯
 - ・ショールームオープン時間短縮、夜間パソコン主電源OFF等を行う。
 - ・冷暖房の室温管理
- ② 燃料使用量削減
 - ・試乗車・サービス代車の効率的な活用による社用車台数の見直し
 - ・営業マンの計画的・効率的な活動による無駄な燃料の排除
 - ・走行ルートの見直し
 - ・エコ運転の推進(エコ安全ドライブ5か条の励行)
- ③ 紙(コピー用紙)の使用削減
 - ・コピー削減の努力→Eメール活用強化
 - ・裏紙の使用推進
- ④ 水道水の使用量削減
 - ・オフィスの節水活動推進
 - ・車両洗車時の節水
- ⑤ 産業廃棄物の削減
 - ・manifestの完全運用
 - ・排出量削減取組
 - ・分別再資源化の強化

(2) その他の取組

- ① 廃自動車部品のリサイクルの順守
- ② 低燃費タイヤの販売
- ③ 公害防止装置洗浄剤の販売
- ④ 危険物保管量の見直し
- ⑤ 廃棄物保管場所の整理
- ⑥ 緊急事態訓練の実施
- ⑦ 近隣への騒音対策
- ⑧ 自治会活動への参加
- ⑨ 環境関連法の順守
- ⑩ 環境教育の実施

【5】環境活動の取組結果と評価

(1) 数値実績 トライアル期間(平成22年4月から平成22年6月まで)の実績

項目	単位	基準年度 (2009年度)	2010年度					
			削減 目標	年間目標 (A)	3ヶ月換算 (A)×1/4	実績 H22.4~6	削減率 判定	
電気使用量	kWh	700,626	1%	693,620	173,405	147,132	15% ◎	
燃料	ガソリン	L	123,528	1%	122,293	30,573	29,253	4.3% ○
	灯油	L	9,053		8,962	2,241	1,274	43% ◎
	軽油	L	5,601		5,545	1,386	1,541	-11% ×
	重油	L	—		—	—	—	—
	LPG	m3	2,105		2,084	521	339	35% ◎
	都市ガス	m3	43		42.6	10.7	10	6% ○
水使用量	m3	6,531	1%	6,466	1,617	1,769	-9.4% ×	
産業廃棄物(処分量)	kg	12,884	1%	12,755	3,189	2,278.8	28.5% ◎	
一般廃棄物	kg	28,453	1%	28,168	7,042	6,973.8	1% ○	
紙(コピー用紙)使用量	kg	3,595	1%	3,559	890	794.4	11% ◎	
二酸化炭素排出量	kg-CO2	595,295	1%	589,342	147,336	131,790	10.5% ○	

判定記号: ◎期待値より大幅に達成 ○期待値レベルの達成 ×未達成

(2) 数値実績を達成するための取組み結果

- ① 電気使用量の削減
 - ・各拠点のエコ委員の取組及び周知により「節電」意識が高まり、短期間ではあったが目標が達成できた。
 - ・今後更に、冷暖房温度設定などによる徹底した電気使用量の削減に努力する。
- ② 燃料使用量の削減
 - ・営業車のエコドライブの励行に努めた。
 - ・更にエコ安全ドライブを推進し、使用量削減に取り組む。
 - ・灯油使用量については、トライアル期間が夏季であった為に減少した。
 - ・軽油については、キャリアカーの使用頻度の影響で削減できなかったが、今後は合理性を考慮し、積載方法・走行ルートの見直しを実施していく。
 - ・全体的には、エコアクション21への取組みと環境負荷削減意識の高まりによって、燃料使用量の削減ができた。
- ③ 水道水使用量の削減
 - ・洗車機導入等により、自社での水量使用が増加した。
 - ・今後は、貼紙及び洗車担当者への個人指導等の啓蒙活動により節水を推進したい。
- ④ 産業廃棄物(処分量)の削減
 - ・削減方法の模索検討などこれからの課題が残っている。
 - ・社内での処理及び保管方法についてのルールは確立できた。
- ⑤ 一般廃棄物の削減
 - ・トライアル期間中データは、各拠点で細かく数量把握を実施したために比較的精度の高い数値が提出された。
 - ・今後分別の強化と再資源化を更に推進していく。
- ⑥ 紙(コピー用紙)使用量の削減
 - ・裏紙使用の励行、できるだけ電子文書化するなどによって、削減努力をした。
- ⑦ 二酸化炭素排出量の削減
 - ・エコアクション21取組みによる電気燃料の削減を筆頭に一部を除くその他の取組みも成果が表れ削減することができた。

(3) その他の取組み

- ・ラベリング制度を活用し、低燃費タイヤの販売(全拠点)
- ・2年に一度の車検時にエコ製品使用提案(全拠点)
- ・保管量を明確にし、貼り出し(生駒店)
- ・有価物保管箱の作成(生駒店)
- ・消防署の協力を得て消防活動・避難訓練の実施(全拠点)
- ・コンプレッサー室に防音壁の作成(郡山店)
- ・消音式のインパクトレンチへの切替(生駒店)
- ・自治会活動への古紙回収活動の協力(橿原店・奈良店・生駒店)
- ・廃自動車部品のリサイクルの順守状況については、法規制社内基準に照らして問題がなかった。
- ・その他環境関連法の順守における教育を計画通り行うことに加え、事務局による個別指導することも検討

【6】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 適用となる主な環境関連法規

主な適用法規	要求事項
水質汚濁防止法	特定施設の届出
下水道法	特定施設の届出
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理 廃棄物処理業者との委託契約 行政による定期的報告
消防法	少量危険物貯蔵所の届出
化管法(PRTR法)	特定化学物質の排出量移動量の把握と記録、基準値以上の取扱量の場合に行政に報告
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理
騒音規制法	特定施設の届出(騒音発生施設)
振動規制法	特定施設の届出(振動発生施設)
浄化槽法	特定施設の届出

(2) 違反、訴訟等

当社における環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

(店舗紹介)

奈良店



奈良店ショールーム



生駒店



生駒店ショールーム



【7】活動事例

是正処置・予防処置記録の事例

【郡山店】



コンプレッサーの音が外部に漏れて近隣住民の方々にご迷惑をお掛けしていました。ベニヤ板をかぶせて防音対策しました。(環境苦情要望受付もしました)



外からの写真です。見栄えも良くなりました。

【檀原店】



こんなに危険な状態が・・・



こんなに安全になりました！

【生駒店】



危険物の最大保管量を誰が見ても一目でわかるように表にしました。ここに貼っています！

第1石油類	ガソリン パーツクリーナー	10L 9L
第2石油類	灯油	18L
第3石油類	クーラント	40L
第4石油類	エンジンオイル ATF デフオイル 廃油	500L (ATF・デフオイル缶は10缶)
		合計

危険物保管量一覧表です。



有価廃棄物保管場所の見栄えが悪かったため、木箱で作成しました。更に、普段はシートで覆っています。



中身は有価廃棄物です。

緊急事態(訓練)の事例

【奈良店】



奈良市南消防署員の方々に
ご説明、ご指導頂きました。
ありがとうございました！



模擬消火体験をしました。
貴重な体験でした。

【生駒店】



生駒店は当社の中で最初に訓練
を開催しました。生駒市消防署
員の方々にご説明、ご指導頂き
ました。ありがとうございました！



皆さん、真剣です！

【橿原店】



橿原店は中和広域消防署から借
りた水消火器2本で訓練しまし
た。



今村自衛消防隊長にエコ委員長か
ら橿原店防火訓練終了の報告で
す。
お疲れ様でした！